



Dream · 絵本と子ども

-三鷹市における絵本館の提案-

加藤 真弓

はじめに



8月、三鷹市大沢コミュニティセンターにて参加した子ども達とのワークショップ
ここで私は彼らが日頃感じている、
様々な想いを実感する

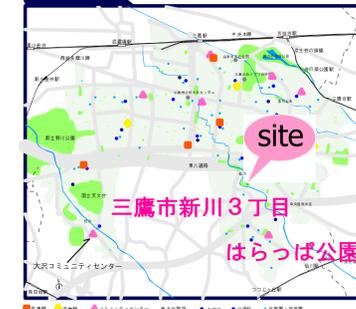


東京都三鷹市

ワークショップの体験から、
私はこの地域に興味を持つようになる



自然の豊富さ、文学に関連する施設の存在、
前々から多く住んでいる絵本作家達、そして
住民の街づくりに対する意識の高さ・・・
この地域を調べるにつれ、様々なことを知った



そこで、ワークショップでの子ども達の想いを感じ、
文学の歴史が残る三鷹市で

「**絵本**をきっかけとした、子どもも大人もつながる居場所」
の提案を目指すことにした



お絵かきできる部屋が欲しい！

イベントを企画したい！

赤ちゃんが安心して遊べる部屋が欲しい！

寝転んで本が読みたい！

緑がいっぱい欲しい！

色んな人がほっと一息できる場所が欲しい！

お昼寝が
出来たらいいな！



この計画は、

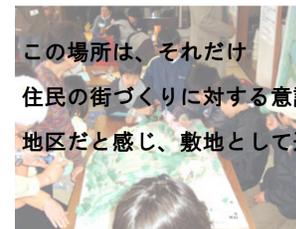
そんなあるワークショップを体験したことから始まった・・・

敷地であるはらっぱ公園は
2つの公園に隣接する
緑豊かな地区の一角にある

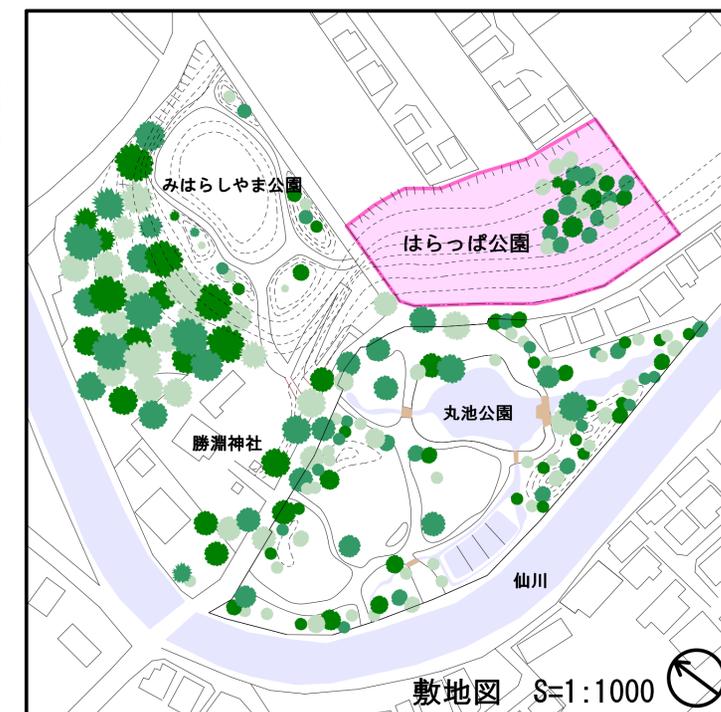


その1つの丸池公園は、
市街地化に伴い
埋め立てられてしまった池を
住民のワークショップによって復活
公園として整備された場所だと知る

この場所は、それだけ
住民の街づくりに対する意識が高い
地区だと感じ、敷地として選定した



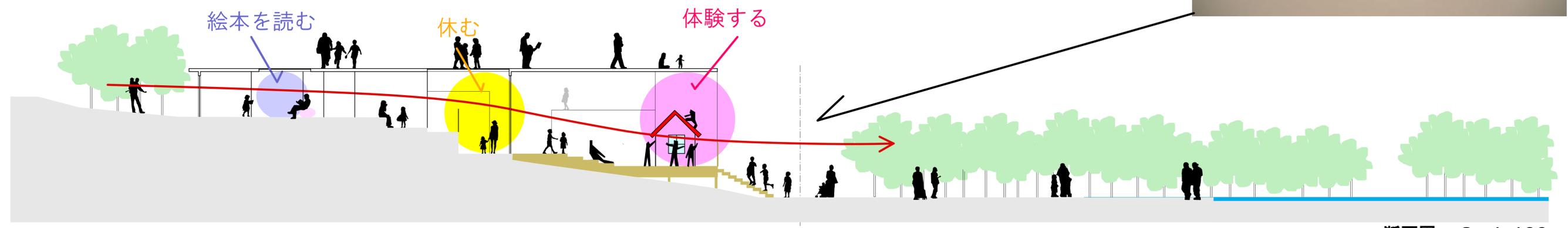
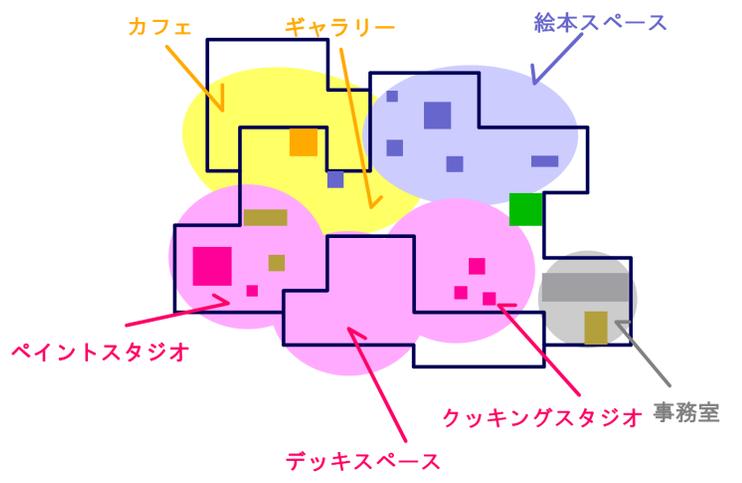
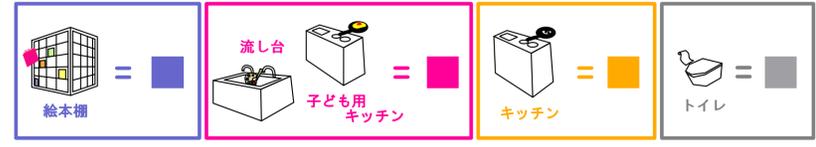
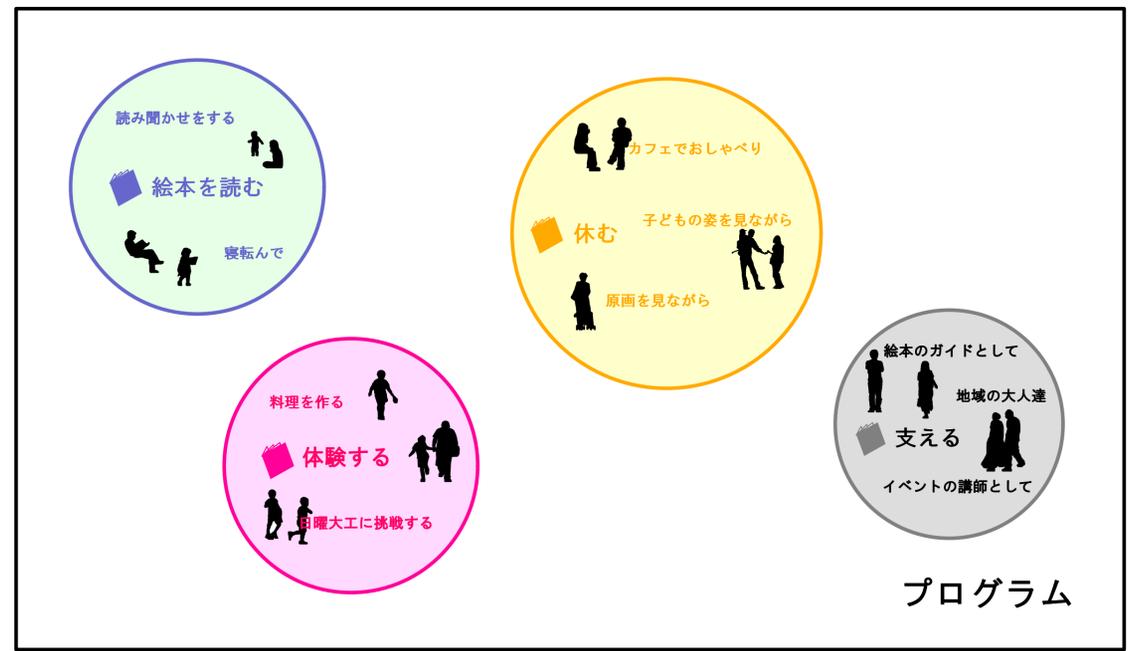
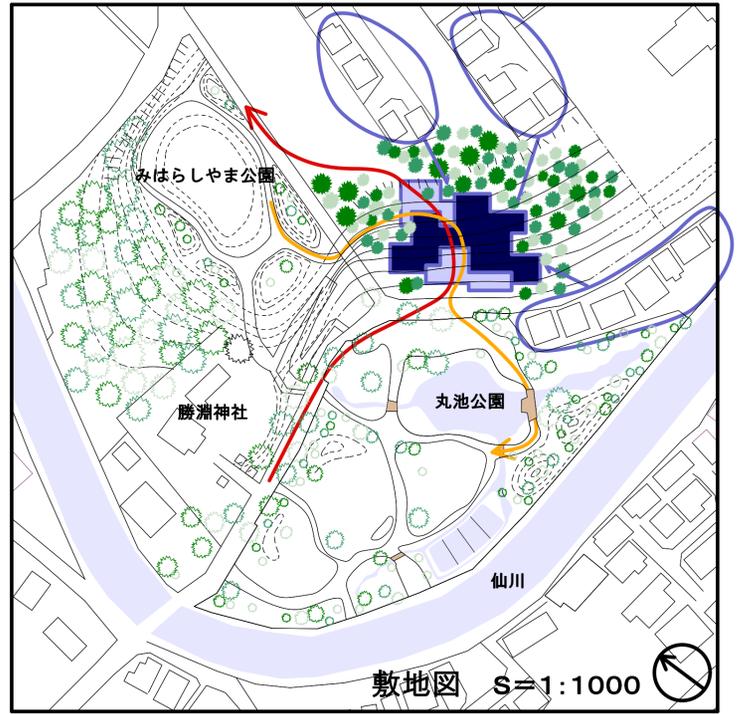
敷地について



空間構成

コンセプトは、「周辺に溶け込みつつも、その場のシンボルとなるような場所」
 そのため、周辺住宅のボリュームをつなげるようにして形を考えた。
 また周りの緑を延長、建物は自由に通り抜けるようなつくりにし、
 散歩の途中にふと立ち寄れる場所を目指した。

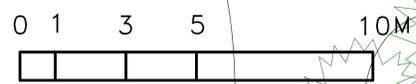
内部は、プログラムで示した行為を行うため、絵本棚・キッチン等の装置を挿入する。
 そうして出来たスペースを敷地の特性である段差で緩やかに分け、天井高の違いを利用し静から動へと移りゆく構成とした。



断面図 S=1:100

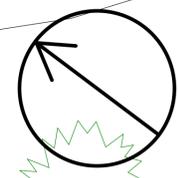


- 1 事務室
- 2 キッキングスタジオ
- 3 ギャラリー
- 4 読み聞かせ室
- 5 デッキスペース
- 6 ペイントスタジオ
- 7 カフェテリア
- 8 絵本スペース1
- 9 絵本スペース2
- 10 赤ちゃんルーム



平面図

S=1:100



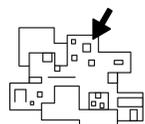


子ども達の活動は外へと広がり、外観を飾る

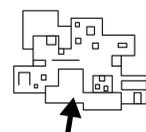
ここでは、絵本をきっかけとした様々な活動を通して子どもが大人と一緒に学び、楽しめる空間を目指したかった



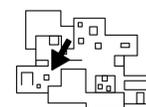
絵本スペース



活動スペース



ペイントスタジオ



ギャラリーから外を見る

